

中国発展基金会と協力し、本研究室で開発したPP-band工法を中国の組積造住宅へ適用する活動を行っている。2010年4月14日から23日まで、対象地域であるチベットラサ地区の現地視察と実験を実施するハルピン市の国家地震局工程力学研究所の現地調査を行った。本研究室の指導の下でPP-band工法を説明し、1/3スケールモデルを用いてPP-bandの施工方法の指導を行った。PPバンド・パンチングメタルなどの材料、ドリル・ウェルダ―などの機器は中国現地で調達し、11人の現地技術者が実際に施工を行った。

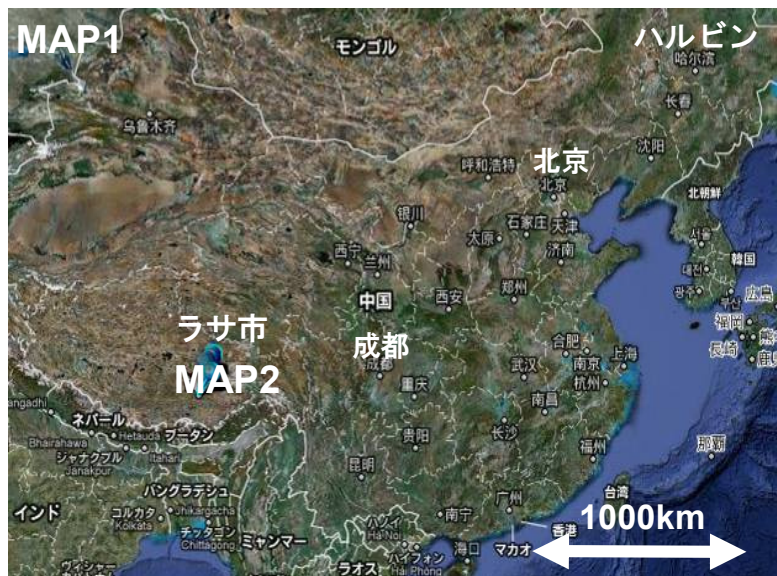
PP-bandの施工指導と実験準備



意見交換会



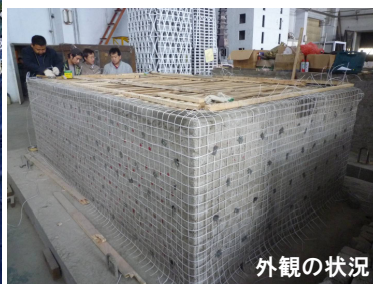
施工指導



作業全景



PP mesh作製

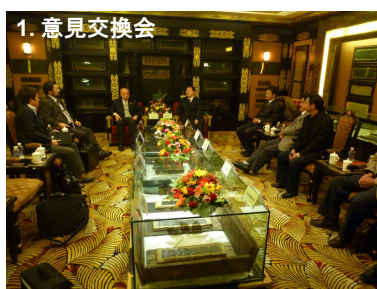


外観の状況



住宅屋内の状況

ラサへの展開



PP-band工法を実住宅に適用するため、チベット自治区ラサ市当雄県納木湖郷（標高4,700m）の現地調査を行った。現地の担当者との意見交換を行い、市街地から約170km離れた標高5,000mの現地に入った。現地は、高い標高のため強い紫外線・強い風・激しい昼夜の温度差等の特徴を持っている。そのため、住宅の壁は約60cmと厚く、屋根を重くした住宅構造である。

